

ANO NATSU NO
KAGEROU

prhs
べろはす

あの夏のかげろう

1



あの夏のかげろう

第 1 話

今年の東京は
珍しく冷夏で
8月を迎える

夏空の元
夕涼みなんて
いつ以来だろうか

上京して以来 夏場は
仕事で忙しくて振り返る
余裕も無かったんだと
ふと思う

日々働いて…
しかし目的が
ある訳でもなく

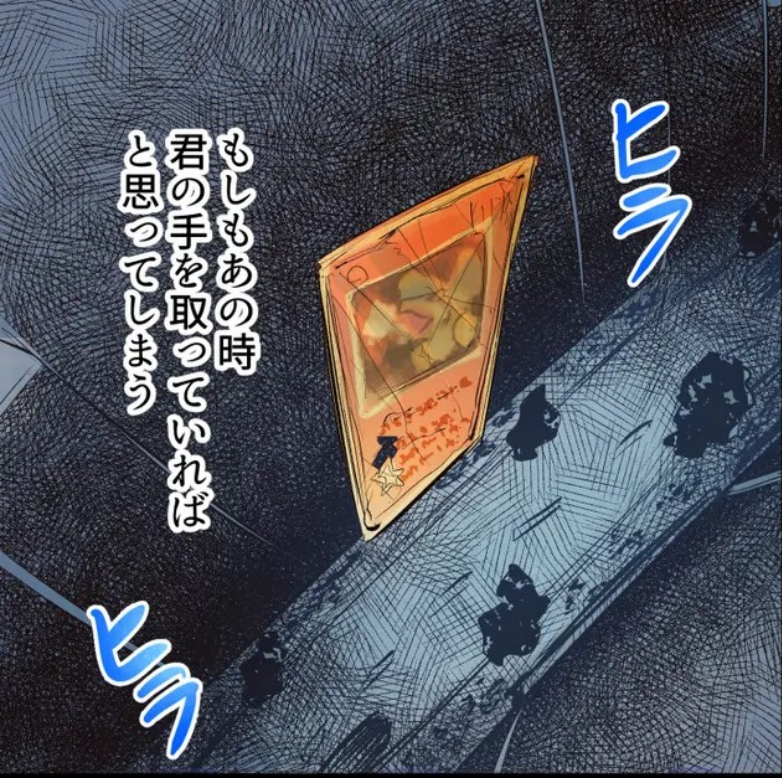
取引先に頭を下げ
晩飯や休日の事を
考える

何の為に生きてるのか
スマホでググっても
彼女と暮らしても
答えはなかった

あれから14年も
経っちゃったのか

俺も
随分老けたな

お
リョウさん
早いっすね



もしもあの時
君の手を取っていれば
と思ってしまう

ヒラ

ヒラ



そうすれば
俺の様な擦れた
人間も変わった
のだろうか



—あの夏にいる
君のかげろうを追う



いや 俺は考えない
様にしてた
何もない自分が
怖かったから

つか まだその
汚ねーカード
持ってるすね

まあ 俺の
戒めみたいなの
もんだし

へえ
それが
ねえ…



だから…

あつ

15年前の夏！

ミーン

ミーン

今年は涼しい
よなあ冷夏って
やつ？

夏本番
なのにな

よし 今度さ
海行こうぜ海！

クラスの女誘って
小樽で海水浴とか

海はさぶく
ねーか

ならバーベキュー
でもいいわ
トモちゃんは
行きたいってさ

後は…

シーン

はあ〜
カナちゃん：
なまらめんこい
よなあ！！

近寄りがたい
美人オーラが
また良い！

しかもあの巨乳
あーたまんね笑

おい ユウヤ
あんまエロい
目で見んなよ

リョウには
分からねえ
だろうけどさ
唯一の楽しみ
なんだわ これ

アイ

お 噂をすれば…
上がってきたっ！

おお

やれやれ
忙しいねーやつ
だな

ザッパッ



カナちゃんさ
頭も良くて運動も
得意だべ？

今じゃ3組の
アイドル女子って
話題になってんさ

あー入学当初から
目立ってんもんな

だべ？
そんな男は
誰だって狙うっしょ

お前の幼馴染は
なまらライバル
いつからな？

で 俺もその二人
ってな笑



となり
座っていい？

クロールのテスト
時間開いちゃう
みたいでさ



リョウちゃん



おおお
まあいいけど

ありがと
優しいね



思春期真っ只中の
俺は小悪魔なカナ
に絆されていた

コシコシ
ねえねえ
デート
今日だよ？

コシコシ
私
期待しちゃって
いいのかなあ

みんなに
バレっから
いうなや...

こないだ迄は同じ様に
恥じらってたくせに
クソ...意識しちゃう

コシコシ
なんで？

出会いは小学校の時
本の虫のカナと
友達になって



家が近かった事も
あって良く押し掛け
遊んでいた

ご飯出来たよっ

カナん家は再婚相手の
お義父さんとの父子家庭

失礼ー
リョウくんも
飯食ってくかい？

面倒見の良い人で
時々飯ご馳走にな
ったりしてた

あっ
おじさん！

ずっとそんな日が
続くと思ってた
けど…



中学に上がる前
俺が転校する事になって
それっきり…



平成18年度

第36回

入学式

だからこそ
驚いた

まさかアイツと
同じクラスに
なるとは……!

カナの自己紹介が
始まるとクラスが
どよめいた

びっくりするほど
美人に成長した
彼女には

本の虫だった影も
なく すぐに人気者
へなっぺだった……!

ガッ

ガッ

ドゥ



……位置について

え 近藤さん
やば…なまら
速いじゃん

あ
いたいた

俺も最初は
別人のカナに
面食らってたが

次第に打ち解け
よく話しに来て
くれる様になった

なんか随分
変わったな
運動全然だった
のにさ

あは
リョウちゃんも
頑張ってたね

あつ 放課後
ちよっとお話し
出来る？

…？ おう
いいけど

そわ

そわ





特別な事は無く
日常の延長上になって
しまった昼下がりの
初デートは

ドキッ

ランチの後
少しブラついて
ゲーセンへ

取って!

永遠に続けと願って
しまう夢の様な
時間になっていた

ペアのアクセを
取る為奮闘して
みたりと:

うん

あーやめろ!

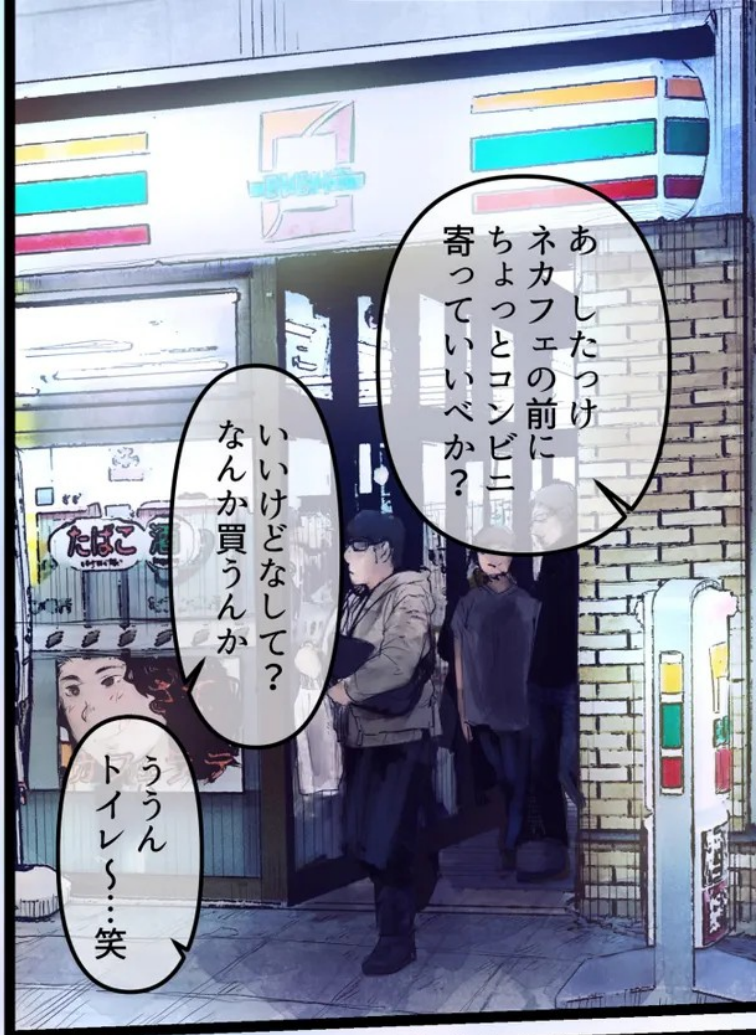
片方上げるから
明日から付けて
来ること

いいのっ!

だから
バレるって...

リョウちゃん
はいこれ!

あーさつき
取った...







したっけ
漫画持って
くっかなー

私見たかった
映画あるの？
それ観ない？

これめっちゃ
宣伝してた
ヤッじゃん！

トモミがさ面白いから
お勧めだっ！
はいスタート！

カナ？
もしかして
疲れた？

うん 今日は
水泳あったべ？
後 リョウちゃんと
初めてデート
できたから…

…楽しかったな

うん…
とっても

学校じゃ
あまり一緒に
居られないから…
今とっても幸せ

カナからいい香りが
ふわっと… 今って
二人きりなんだよな



ここ少し
暑いね：

フリ

ムサ

ゴクッ

やっぱ：
考えてたら
がつつり勃った

つか こんな密着してる
ならチャンスじゃね？
手を伸ばせばすぐだろ？
：俺ならイケる！

足動かすからスカートが
めくり上がって：凄い事に

嫌でもカナが：
女が横にいるって
意識しちゃう

ブル



俺…さ

カナ…



こうやって…

え…
リヨウちゃん？



リヨウちゃ…

ん…



カナのこと……

…うん



カナ 俺もう
我慢できない…っ！

はぁ…

ん…

を
知
る

ん…

ん…

え
こ…で…っ

や…ダメだよ
リヨウちゃん！
ココって…

それに
私達まだ…っ

グ
グ
グ…

かさ ゴツ

はぁ

ゴメン…っ

プツッ

ん

リヨウちや…っ
あつ

もぞ

もぞ

はぁ

なんかすげえ色っぽい…
甘い匂いが充満して
昼のカナとは
別人みたいだ…

ん

はぁ

アサ

ブルン







こんなの
我慢できねえ...っ!!



はぁっ



はぁっ

んんん

んんん



…うん

ピト…



ゴッ
ゴッ



挿入れるぞ



ゾッ

あ
挿入って…っ

ズンッ♡

ぐう…うっ



カナの膣内に
俺の…っ
めっちゃ熱い…

ハッ♡

イタミ♡



めっちゃ狭くて
ねっとり絡みつ
いてくる...っ

これじゃ
すぐ...

アキ...

ガク...



まだだ...っ まだ
射精したくない...

やっと
繋がれたんだっ
なのに...!!

イロ...

イロ...

イロ...



くそ...っ

はあ...

イロ...

はあ...

ガク...



膣内がすげえ
締まって…っ

もっただ…
もう一回っ

や…あっ
まだイった
ばかり…っ
だから…っ

俺達は互いを
求める様に
何度も何度も
交わった

もう
射精そうだ…っ

うん いっぱい
射精してえっ

はあっ

はあ…っ

狭い室内は互いの汗と
体液の匂いで湿気立つが
構いもせずにカナを抱く

そうしないと
カナがどこかに
行ってしまふ
気がしたから…



ん…っ
リヨウちゃん
それやば…い

カナのここ…
舐めるとどんだん
溢れてくる…

や…あつ
言わないで

俺のも
啜えて

…うん

うあ…
啞内ってこんなに
気持ちいいの…っ

チュッ

チュッ

はあっ
いく…っ

チュッ
チュッ
チュッ

ちゅぽっ

チュッ

あは

ビッ

カッ

あは



はあ…つはあつ
俺もう無理かも
射精しすぎた

…大丈夫か？

…あぐっ
もう少し待って
まだ引いてない…の



私達がこんなHしてる
って学校の皆知らない
んだよね…なんか不思議

ユウヤには
バレたけどな
なんならまだ皆
部活の最中だろうし

ふふっ それに
私 昨日まで
こんなHじゃ
なかったんだよ？



ねえ
こっち向いて？

ん？
なんだよ

…大好きだよ
リョウちゃん



ははっ
俺も大好きだよ
カナ…

…うん
ずっと一緒に
いたいね



お客様
お時間の方
過ぎてますが…

コン
コン



やば 退出時間
すっかり過ぎてん
じゃん…!

…失礼ですが
開けても
よろしい
でしょうか?

あ
すぐ
出ますんでっ

カナ 早く
着てくれ

あのー どうか
されましたか?

大丈夫ですっ!
今開けますんで…

え…あ
うん

やつ
まだ開けちゃ駄目
だってば…!!



す…
すみません

カアアア…

いやはや…



お会計
3000円です

…あまりはしやぎ
過ぎないように
してくださいね

ゴッ



したっけさ
また明日
学校で！

今日すごく
楽しかった！



焦ったー
ははっ

もう
まってよ！



やった後で会うの
若干気まずいけど
なまらエロかった
なあ…

リウくん♡

夏休み 一緒に海
行ってくれるかな
そしたら水着のカナと
またH出来たりして

楽しみすぎて
若干勃起してきたし
考えすぎないどこ



鍵…と

あれ？
俺のスマホ
がねえ



あ そうか
カナの鞆に
いれちゃった
のか

明日の時間割
どうしよ連絡も
出来ねーし
カナん家に取りに
行くしかねえか



これ俺が
さっきゲーセンで
取った奴か？

ギッ



カナ？

キッ

真っ暗だ
それに
砂嵐の音…？



え…っ！？

ノック



ううつ 夜になると
尚更冷えるべな…

ごめんくださいい
おじさん カナ

いないのか？

ん？ ドアに
なんか挟まって…

…なんで
玄関に

鞆の中身が
散乱して—

カナの声…!?

ギョ…
ア…

サッ
っ!?

そ
そんな…

シム
ホ

シム
ホ

クッ
ッ

ん
ん

ん
ん





いったい誰が

そんな事



嘘...だっ

カナが...?
俺の彼女だぞ!?



カナの
義父さん...!?



...なんなんだよ

これ

ドン

あの夏のかげろう (1)

著者 prhs

発行 Creator's Label

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。



Creator's
Label